

## 略歴

日本電信電話公社(現 NTT)にて日本初の電子交換機の開発研究に従事、修士課程の間、東京大学宇宙航空研究所にて衛星通信における位相同期回路の研究に従事、東京大学生産技術研究所にてデジタルファクシミリの標準化にかかる研究に従事、宇宙開発事業団(現 JAXA)にて日本初の地球観測衛星プロジェクト(MOS-1,MOS-1b,JERS,ADEOS)に従事、カナダリモートセンシングセンターにてカナダ政府給費 留学生として衛星データの解析手法にかかる 研究に従事、佐賀大学にてコンピュータサイエンス・地球環境の研究に従事するとともに日本初の国立大学発 TLO の設置、科学技術共同開発センター長、 情報処理センター長、沿岸海域研究センター副センター長、 学長特別補佐、評議員、知的財産管理室長、国際交流・地域連携室長等歴任,1998-2000 年 科学技術庁 審議員(航空電子等技術審議会:シンクロトン光放射 施設、地球シミュレータ、深海探査船等計画策定)(2 期)等歴任、視線入力システム等の発明(本研究にて文部科学大臣表彰・佐賀県ユニバーサルデザイン大賞を受賞)、佐賀県近接離島に初めてブロードバンド通信設備整備 (本研究開発により、九州総合通信局から電波の日局長表彰)、1998 年 2018 年 NASA-MITI 共同プロジェクト EOS/ASTER の校正チームリーダーとして代替校正手法開発、1998 年-アリゾナ 大学客員教授として衛星搭載光学センサの校正にかかる研究に従事、45 年にわたる衛星リモートセンシング研究により、国際学術会議宇宙研究委員会 COSPAR/ Sarabhai メダル受賞(日本初)、現在、地球環境、防災、農林水産業における 衛星データ実利用(衛星の恵みうれしの茶(静岡、知覧、大隅、大分に横展開)、もち米(ヒヨクモチ)、さがびより、プレミアム大豆、もち麦(ダイシモチ)、長粒米等の品質推定、収量予測及び 冬季大型珪藻赤潮ブルーム予測)、GOSAT プロジェクト等を通じて地球環境研究に従事